

青森県原子力防災訓練に参加しました

11月10日・11日に行われた「青森県原子力防災訓練」に参加しました。
今回の訓練は、地震発生の影響により原子炉を停止し、その後全ての交流電源と原子炉を冷却する機能が失われ、原子炉の水位が低下したという想定で行われました。
当日は、発電所対策本部内での指揮・命令や情報共有、社内外への通報連絡などを行い、対策本部が有効に機能することを確認したほか、電源確保のための電源車の接続、被ばくを伴う傷病者の応急措置・搬送等の実働訓練を行いました。
また、オフサイトセンターでの運営訓練に参加し、関係機関との連携を確認しました。
今後も万一の原子力災害発生に備え、国や県、関係市町村と連携しながら、さまざまな訓練を実施し、緊急時の対応力向上に努めてまいります。

《発電所が実施した主な訓練》

●発電所対策本部運営訓練



事態の早期収束に向けた対応策の検討や社内外への迅速・的確な情報伝達に取り組んだ

●電源車による電源確保訓練



電源を失った発電所設備へ電力を供給するため、電源車と配電線を接続する作業を行った

●原子力災害医療訓練



発電所建屋内で発生した傷病者を除染室で応急救置後、救急隊員へ引き渡した

●オフサイトセンター運営訓練



各関係機関から要員が参集し、活動状況等の情報共有や事態の進展に備えた防護対策を検討した

東通中学校において「環境・エネルギー教室」を開催しました

10月25日、東通中学校3年生の生徒を対象に「環境・エネルギー教室」を開催しました。
当日は、地球温暖化とエネルギー消費との関係等の説明後、発電模型の実演や自転車による発電体験を通じて、電気が作られるしくみを学んでいただきました。
生徒からは「環境問題やエネルギーへの関心が高まった」「自転車で発電してみて安定した電気を作ることの難しさを感じた」などの感想が寄せられました。



自転車による発電体験の様子

平成30年度 品質月間行事を開催しました

11月2日、全国大で展開する「第59回品質月間」の取り組みに呼応し、「品質月間講演会・品質標語表彰式」を開催しました。当日は、発電所員および構内協力企業の社員約100名が参加し、安全を最優先とした更なる業務品質の向上に取り組むことを確認しました。



【表彰式】東北発電工業協会の坂本哲哉氏の標語「改善にこれで終わりの言葉なしみんなで作ろう職場の風土」が最優秀賞に選ばれ、表彰の後、全員で唱和しました。



【講演会】「重大事故から学ぶこれからの安全管理」と題し、東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授中村昌允氏より講演をいただきました

「第50回東通村産業まつり」に電力コーナーを出展しました

11月4日、「東通村産業まつり」が東通村体育館・同駐車場にて開催され、多くの来場者で賑わいました。
当発電所は、東京電力ホールディングス㈱と共同で電力コーナーを出展し、ご来場いただいたお客さまに温かいコーヒーのサービスとエネルギークイズを行いました。
クイズでは、エネルギーに関する問題に挑戦いただき、「勉強になりました」といった声をいただきました。



多くの来場者が訪れ、コーヒーサービスやエネルギークイズを楽しんだ